

芸術文化学科

学科理念・教育目標

芸術文化は、社会を豊かにする精神的基盤としてますます重要になっています。21世紀以降、独自の技術や様式にこだわらず、社会の現状といかに関わるかという姿勢が求められています。そして、これまで以上に芸術文化が社会にとって有益であり、かつ、欠かせないものであると、社会に生きる人々が実感することが重要です。そこで求められるのは、高度に専門分化した学びよりも、むしろ、さまざまな領域を横断・包括する視点から生まれた発想によって、社会と芸術文化をつなぐデザインができる人材の育成です。1999年創立以来、芸術文化学科は、このミッションに向き合い、人との、人と場、人と人との関係性を芸術文化の力を通してデザインし、社会を活性化していく人材を輩出することを目指しています。

造形学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

DP1	専門的な知識を理解し深めることができる。
DP2	専門分野の基盤となる文化や諸科学について総合的に理解している。
DP3	制作・研究を深め広げる技能を身につけている。
DP4	他者に伝える表現能力および他者とともに考える対話能力を身につけている。
DP5	批判的思考を働かせ、課題や主題を自主的に設定することができる。
DP6	論理的思考・創造的思考を働かせ、独創的な課題解決の判断や構想ができる。
DP7	制作・研究に幅広い関心と高い意欲を持ち、社会のなかで主体的に取り組むことができる。

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次
文化総合科目 I類		文化総合I類カリキュラムマップ			
文化総合科目 II類		文化総合II類カリキュラムマップ			
造形総合科目	I類必修	造形総合・絵画 I 造形総合・彫刻 I			
	I類選択必修	造形総合・絵画 II 造形総合・彫刻 II 造形総合・デザイン II 造形総合・工芸 II 造形総合・メディア表現 II			
	II類	造形総合II類カリキュラムマップ			
学科別科目	I類必修	芸術文化特論 I デジタルデザイン基礎 I 芸術文化学入門 プランニング入門 プランニング実践	芸術文化学概説 デジタルデザイン基礎 II 造形基礎 展示基礎 マネジメント入門 マネジメント実践	芸術文化特論 II 芸術文化演習 I	芸術文化演習 II
	I類選択必修		ヴァジュアルコミュニケーションデザイン A ヴァジュアルコミュニケーションデザイン B ヴァジュアルコミュニケーションデザイン C 絵画 II 映像デザイン II デジタルアーカイヴス	芸術文化研究 A 芸術文化研究 B 芸術文化研究 C 芸術文化研究 D 芸術文化研究 E 芸術文化研究 F 芸術文化研究 G 芸術文化研究 H 芸術文化研究 I 芸術文化研究 J 芸術文化研究 K	
	II類選択必修	ミュージオロジー入門 ミュージオロジーと生涯学習 映像デザイン I 西洋美術史概論 デザイン基礎	ミュージオロジーと保存 ミュージオロジーと教育 日本美術史概論 工芸制作 I	ミュージオロジーと運営 ミュージオロジーと資料	ミュージオロジー実習
	A	表象文化論 I 表象文化論 IV	写真論 I 文化社会論 I	造形民俗学 I	アートセラピー メディアと情報 I

